

支えてくれる人たちに感謝を忘れずに  
夢を追い掛ける

専修大学北上高校3年軟式野球部

鈴木 眞琴さん まこと



今まで全国大会に3度出場し、ここ2年間も県大会や東北大会で優勝、準優勝をしている専修大学北上高校軟式野球部。そのチームの一員として、練習に励んでいる鈴木さん(17歳)。女子部員は日本高校野球連盟の規定で公式戦に出場はできませんが、ほかの部員と一緒に汗を流しています。

野球は、3歳上の兄翔(しやう)汰さんの影響で小学2年生から始めました。一関市の中里スポーツ少年団に入り、4年生から主力として活躍。中学校でも3年間、三塁手として試合に出場していました。

しかし、中学3年生のときに高校では女子部員が公式戦に出場できないと知りました。それでも大好きな野球をこれからも続けたいと思い、専修大学北上高校軟式野球部に入部。「大好きな野球を続けることができるし、部員のみ

など一緒に野球ができて楽しい。いい仲間がたくさんいて幸せ」と話しています。

一関市の自宅から通学している、朝は早く、帰宅は夜遅くなる日々。それでも野球に打ち込めるのは「つらいときに話を聞いてくれたり、支えてくれる親のおかげ」と感謝しています。

そして、「高校生最後の大会も公式戦には出場できない

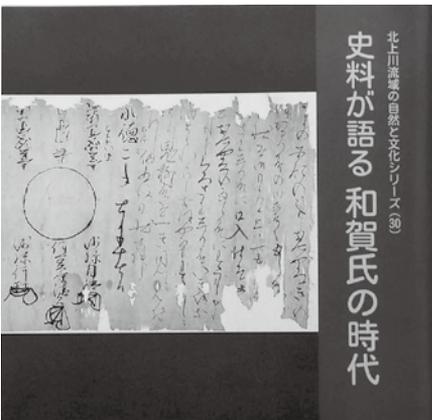
けれど、部員のみならず全国制覇したいので、チームをたくさんサポートします」と話す鈴木さん。将来は「女子プロ野球選手になりたい」と笑顔で話し、女子プロ野球のトライアウトに挑戦するため、自主練習などをしている。

支えてくれる人々への感謝を胸に白球を追い掛ける日々は続きます。

博物館だより

北上の武将・和賀氏③  
和賀氏の隆盛

本書(全56ページ)は博物館で販売しています



中世の和賀一族の動向を伝える一級史料に東北大学所蔵の「鬼柳文書」があります。この文書の内容は、日本が足利尊氏方(北朝)と後醍醐天皇方(南朝)に分かれて争っていた南北朝時代に集中していて、その後、優勢となる北朝に属していた和賀惣領家や鬼柳氏が、どんどん勢力を拡大していく様子を伝えています。この度、博物館では『史料が語る和賀氏の時代』を刊行し、「鬼柳文書」をはじめとする史料をもとに、和賀氏の時代を紹介しています。

博物館・みちのく民俗村 立花14-59 ☎64-1756  
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日：12月1日～3月31日の期間は月曜休館(祝日などの場合は翌日)、12月28日～1月4日  
※5月28日(月)は資料点検のため臨時休館日。  
入館料：一般500円、高校生240円、小中学生170円  
(20人以上で団体料金となります)



中央図書館 ☎ 63-3359 江釣子図書館 ☎ 77-2215 和賀図書館 ☎ 72-2322  
 中央図書館のホームページ <http://www.library-kitakami.jp/>

## 《5月の新着本から》

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| ▼ 一般書 | 女子栄養大学のダイエットレシピ<br>川端 輝江・山中 由紀子 |
|       | はじめての子供服<br>山田 ルリ子              |
|       | 三匹のおっさん ふたたび<br>有川 浩            |
|       | マンボウ最後の家族旅行<br>北 杜夫             |
|       | 梅ちゃん先生 上<br>蒔田 陽平               |
| ▼ 児童書 | 身近な魚のものがたり<br>小泉 光久             |
|       | やくそくだよ、ミュウ<br>小手鞠 るい            |
|       | おめでとう！<br>いもと ようこ               |
|       | みどりのカーテンをつくろう<br>菊本 るり子         |
|       | 野菜をそだてる12か月<br>亀田 龍吉            |

## 《おすすめ新着本》

『ざしきぼつこと俺<sup>おんず</sup> 東北の村・まち・世界』  
 阿伊染 徳美<sup>あいぜん とくみ</sup>／著  
 編集グループSURE



著者と4人の座談会「かくし念仏と俺」「イギリスから見た宮沢賢治・清六兄弟」などを収録した本。著者は和賀町出身。「わがかくし念仏」などの著書があります。

『図解絵本 東京スカイツリー』

モリナガヨウ／作・絵  
ポプラ社



634mの高さの世界に誇るタワーができるまでを、精密で迫力のあるイラストと解説で紹介した本。

## 《6月のイベント情報》

### ■おはなし会

6月10日(日) 午前11時～11時30分 中央図書館  
 6月17日(日) 午前11時～11時30分 江釣子図書館

### ■こども映画会

6月23日(土) 午前10時30分～11時30分 中央図書館

### 旬の山菜を味わう会

### 珈琲ブレイク ⑤



毎年5月、和賀町岩沢地区では「旬の山菜を味わう会」が開催される。今年は5月13日の日曜日にJR岩沢駅に隣接する羽山ふれあいセンターで開催された。ウドやシドケ、冬ニンジン、ウルイ、ワラビ、アブラメなどなど十種類を越える山菜をさまざまな料理方法で味わせてくれる。地域のお母さんたちが材料を持ち寄って作るのだ。

この地区は市西部に位置し、秀衡街道を始め、多間院伊澤家、その庭に咲く中尊寺ハスなど、世界文化遺産平泉に係る史跡や景観資産が多くあり、地域を上げて守り育てている。このこともあって、この会には必ず中尊寺からゲストが招待されている。今年には山田俊和貫主も参加された。昨年夏、多間院伊澤家で恒例の青空法話があり、貫主のお話を伺う機会があった。講話の内容は、平泉の場の意味である「諸仏磨頂之場<sup>しよぶつまちやうのたにわ</sup>」についてであった。「諸仏磨頂之場」とはあらゆる仏様が民の頭を優しくなでるような、神聖でありがたい場所という意味である。私もそんな北上市であってほしいとの思いで、今年の年賀状に下手な字で書かせていただいた。

貫主のご出身は東京都江戸川区平井とのこと。私が学生時代に住んでいた所だ。生粋の江戸っ子で、歯切れの良い江戸弁が心地良い。そんな貫主が、岩沢地区に残っている地域住民同志の暖かいつながりに感動しているとのこと。そんなコミュニケーションをこれからも大切に守ってほしいとの言葉をいただいた。私も、数年前に地域の商店が一つもなくなり、昨年の震災では生活の必需品を買うこともできなかったそう。この地域に元気がなってもらうために、共に地域の将来をしっかりと考えていかなければ、とあらためて感じている。